

公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会
第47回山形ブロック大会 長井大会

フォーラムⅡ
15:15~16:30(75分)

地域に必要な防災・減災ネットワークとは

～メディアが映さない災害ボランティアのすがた～

災害ボランティアセンター立ち上げに数多く携わっている千川原公彦氏をコーディネーターに迎え、シンポジウムを開催します。昨年の豪雨災害時にボランティアセンターを立ち上げた南陽市の体験談や青年会議所と社会福祉協議会が連携して地域防災に取り組んでいる長井市の事例を聞くことで、個の力ではなく、地域の防災力は各団体が一体となっていくべきものであるという認識を持ち、普段から顔の見える関係づくりが重要であることを知っていただく機会とします。

さらに、共助の代名詞でもある「災害ボランティアの実態」を知っていただき、ボランティアセンター立ち上げ時に必要なことや平常時から心掛けるべきことなど、それぞれの立場から発表していただきます。

また、交流会を行うことで、お互いを理解し、顔の見える関係を築き、各地の防災・減災ネットワーク構築に役立てていただきます。



■千川原 公彦氏
*所属/千川原公彦氏
(ウェザーハート災害福祉事務所)

山形県出身。秋田県在任時に、「日本海中部地震(1983,秋田県)」を体験。
「有珠山噴火災害(2000,北海道)」を契機に、国内での災害支援活動に関わる。
平時は、行政・社協・自治会・N PO等とともに防災訓練・災害研修等の企画など防災活動に携わる。
主に「調査活動、避難所設置運営サポート、災害ボランティアセンターの設置・運営サポート、復興支援活動」など、社会福祉協議会・NPO・住民等と関わりながら、協働を重視した活動を心がけている。災害被災地において被害状況の調査、災害ボランティアセンターの設置・運営の支援活動、被災地の取材・記録等を行っておられます。
主な活動先としては、有珠山噴火災害(2000年)、中越地震(2004年)、中越沖地震(2007年)、岩手・宮城内陸地震(2008年)などがあり、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた被災地でも様々な活動をされています。

第一部 シンポジウム

コーディネーター/千川原 公彦氏

パネリスト/山形県社会福祉協議会 渡邊 陽氏

パネリスト/南陽市社会福祉協議会 竹田 三佳氏

パネリスト/長井市社会福祉協議会 荒井 信毅氏

パネリスト/山形ブロック協議会 副会長 鈴木 大助君

第二部では、各エリアに分かれた名刺交換会を行い、参加者同士の交流をはかります。

対象者 約140名 山形県内各地青年会議所会員、山形県内各地社会福祉協議会、他災害・防災関連組織団体など

*個人での参加も大歓迎ですので、事前申し込み用紙にご記入の上、下記までお送り下さい。

事前申し込み用紙

所 属

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

募集締め切り 6月20日(金)

*複数名での参加お待ちしております。

*第2部では参加者間の交流をはかるため、名刺交換の場を設けさせていただきますので、40枚程度、名刺をご持参下さい。

返信先/FAX.023-654-4180(公益社団法人天童青年会議所事務所内) Mail/info@hoshi-no.com